アメリカのニューヨークにある国連本部のビル

国際

平和のために 国連の役割

国際連合（国連）は1945年に発足して以来、世界の平和と安定をリードし続けてきた。しかし、最近でも中央アフリカ、ウクライナやシリアなどで争いが絶えない。平和のために、国連が果たす役割を見てみよう。

キーワード　国際連合（国連）

世界平和の実現を主な目的に、第二次世界大戦直後の 1945 年 10 月に作られた国際機構。本部はアメリカのニューヨーク。現在の加盟国は 193 カ国。組織は総会など大きく六つに分かれている。ほかにも教育や文化の発展をめざす国連教育科学文化機関（ユネスコ）や主に発展途上国の子どもたちを支援する国連児童基金（ユニセフ）など、さまざまな分野の関連機関がある。事務局の最高責任者である事務総長は韓国人の潘基文氏。日本は1956年に加盟した。

近年、紛争が続いている国と国連の動き

中央アフリカ

1960年にフランスから独立して以来、政治的、宗教的対立が続く。特に2013年に反体制派の攻撃で大統領が国外に逃げた後、無法状態に。避難民は約100万人に上る。2014年4月、安保理は軍事・警察要員計1万1800人の部隊を発足させる決議を出した。

ウクライナ

2014年2月に親ロシア派と親ヨーロッパ派の争いが起こった。5月の大統領選挙で、親ヨーロッパ派のポロシェンコ氏が当選。国の一部のクリミア半島では、親ロシア派がロシアの領土になることを決め、ロシアが支配している。安保理でアメリカなどが、制裁や非難の決議を出そうとしているが、ロシアが反対している。

シリア

2011年から内戦が続いている。15万人以上が犠牲になり、国外に逃れた難民は260万人を超える。6月に大統領選挙が行われ現職のアサド氏が当選したが、国際社会の多くは選挙結果を認めていない。ロシア、中国が安保理で制裁に反対するなどしている。

最も大きな力を持つ安保理

国連で平和のために最も大きな力を持つのが**安全保障理事会（安保理）**だ。軍事的な行動をとることなどを決める組織で、加盟国はその決議に従わなくてはならない。ただし常任理事国であるアメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国は拒否権を持ち、1カ国でも反対すると決議は成立しない。

キーワード　安全保障理事会（安保理）

国連の主要機関の一つ。常任理事国５カ国と任期２年で改選される非常任理事国 10 カ国の計 15 カ国で構成される。日本は加盟国中最多の 10 回、非常任理事国をつとめている。

安全保障理事会の様子＝2006年10月☆

常任理事国の5カ国は、第二次世界大戦で勝った側の国なの。とても大きな国ばかりね。おたがいの利害関係から、足並みがそろわないこともあるわ

国連は世界の平和と安定のために、さまざまな活動を行っている。主な活動を見てみよう。

強制力を持つ制裁決議や国連軍

国連では安保理が、平和をおびやかす国などに対し、強制力を持った行動をとることがある。代表的な行動に、お金やもののやりとり、武器の輸出入を禁じるなどの制裁*がある。現在、北朝鮮、イランなどが対象になっている。

また国連の指揮の下で戦う国連軍を組織し、武力で解決することもできる。国連軍は安保理と加盟国との間の協定により作られる。国連発足以来、正規の国連軍が組織されたことはない。　*制裁……こらしめること。

多国籍軍とは

多国籍軍という言葉を聞いたことないか？　多国籍軍は複数の国が自主的に兵士を派遣してつくる国際軍のことだ。安保理の決議とは関係なく編成され、国連の指揮を受けない。国連の指揮の下で活動する国連軍とは違うんだぜ

イラクに駐留する多国籍軍のポーランド兵士＝2003年11月☆

軍備を減らす地道な動き

国連は軍縮にも取り組んでいる。軍縮とは武器や兵器、兵士を減らすこと。主に総会での議論や決議が、軍縮に関する国際世論を高めることに貢献してきた。総会が採択した条約には、核実験の全面禁止を内容とする核実験全面禁止条約（ＣＴＢＴ）や、戦車や戦闘機の国際取り引きを規制する武器貿易条約（ＡＴＴ）などがある。

「国際連盟」の反省

国連の前には、各国が平和のために組織した「国際連盟」があった。1914年に起こった第一次世界大戦で多くの命が奪われたため、戦後の20年、各国は国際連盟を発足させた。しかし、この組織は武力を使えず、物事を決めるのに全加盟国の賛成が必要で、実行力がなかった。またアメリカが加盟しないなど、影響力も小さかった。結果、第二次世界大戦を防ぐことができなかった。その反省から、国連は安保理を中心に、世界の平和に対して積極的に行動し、ときには武力を用いることもある。

解決を支援する 国連平和維持活動（PKO）

争っている国などに対し、平和的な解決を支援するのが国連平和維持活動（PKO）だ。停戦や軍の撤退を監視し、復興を手助けする。加盟国の兵士や警察、行政職などの人たちを国連が編成して派遣する。

PKO要員としてカリブ海の国ハイチに派遣された中国の警察官たち（右）＝2005年

兵士たちの武装を解いたり、選挙を監視したり、道路や橋を建設したりするなど活動はさまざまだ。現在、アフリカのコンゴ民主共和国や南スーダンなど世界の16の国や地域で活動し、120カ国以上から約10万人が参加している。1988年にはノーベル平和賞が授与された。

平和のために 一歩を踏み出そう

国連が平和のために果たす役割、そしてわたしたちが平和のためにできることを、国連広報センターの根本かおる所長に聞いた。

根本かおる所長

国連には三つの使命があります。平和、人権、開発です。一見バラバラに見えますが、人権がおびやかされたり、貧しく飢えたりしていると、憎しみが生まれ平和ではなくなります。

わたしは長く難民の支援にあたってきました。怖い思いもたくさんしました。でも自分の活動で、だれかの命が助かるかもしれないと思い、仕事をしてきました。ぎりぎりの状況の人々から、生きるということ、そして命の大切さも学びました。

国連は完ぺきではありません。しかし、国連は平和を願う人々、国々の集まりです。人権や平和、開発というと遠い世界のようですが、寄付でもなんでもかまいません。まずは自分のできることから始めてみてください。あらゆることは自分の一歩から始まるのです。

p14_p17_国際_ol.indd 14-15　14/06/27 13:34